

日本包装専士会 関西委員会ミニセミナー記録

2022.10.18.改訂
今田克己 作成

開催日時	2022年9月28日		13:00—16:30
講師	—	〒567-0083 大阪府茨木市彩都もえぎ1-4-1 見学専用ダイヤル:072-640-1872	
テーマ名	資生堂大阪茨木工場見学 		出席者(敬称略・順不同) 平田達也、清水太一、山本高之、小谷聖、今田克己、(以上関西理事) 松本伸介、(堤氏代理) 松田充広、遠藤明子、梶尾なぎさ、中村玲惟菜
内容(要約)	エネルギーや水の消費量削減など環境に配慮した工場で、工場建造物としては評価の高いCASBEE(建築環境総合性能評価システム)のA評価を取得。又、資生堂初の工場と物流センターを併設し、生産現場から直接自動倉庫に収納できる構造になっている。		
講義の状況(写真等)	<p>【工場概要】</p> <p>ブランド「SHISEIDO」を象徴する美容液「アルティミューン」をはじめ、グローバルラグジュアリーブランド「クレ・ド・ポー ボーテ」を中心とした、高価格帯スキンケア製品を生産している。 国際規格ISO22716に準拠し、資生堂の強みである「高品質」を実現できる設計・設備を取り入れ、安全で安心な製品を世界中に供給している。 また、その高い品質を支える「人」が働きやすく、成長できる職場環境を整えるとともに、環境にも配慮した「人と社会のためのサステナブルな工場」を実現している。</p> <p>充填包装室はクラス10000で陽圧管理、HEPAフィルターで衛生管理されている。包装室は充填室と隔壁で分離され、包装ラインは12本あり、常時半分が稼働、残りはメンテナンスか生産準備をしている。多品種少量生産、高額品のため機械化より人出による作業の方が効率が良く、製品の仕上り状態も良いとのこと。将来さらに12ライン増を計画。</p> <p>【見学内容・感想】 平田委員長作成原稿転載</p> <p>2020年12月より稼働が開始され、今年5月から見学が可能になった資生堂の最新工場を関西委員会有志他で見学した。大阪茨木工場は生産工場と物流センターが1つの建屋で運営されているのが特徴で、高価格帯スキンケア製品の生産が行われている。 大画面プロジェクターでの施設概要説明の後、内容物の製造(配合)工程、充填・包装工程を専用通路から案内して頂き、包装業界人にとっては、品質管理面、衛生管理面で非常に参考になるものであった。 その後、ルームフレグランスのラベル作成～自動充填・キャッピング、包装までを体験できるワークショップスクール、五感を使って官能検査を体験できるセンサーテストラボを受講し、化粧品が数値だけで管理できない厳しさを学ぶことができた。 現在はコロナ禍で限定されたコースではあったが、世界企業の工場運営を見ることができ、大変満足できる見学会であった。</p>		
			